

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和4年3月7日

事業所名：古河市児童発達支援センター ぐるんぱ

職員数 19人 回収数 19人 回収率 100%

区分	NO.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	4	0	コロナ禍の中、保護者にも協力をいただいています。狭い訓練室の時はテレビカメラのある部屋で見させていただいたり、換気に気を付けられるよう扇風機などを回して対応しています。	コロナ禍により訓練室内の人数を制限しています。引き続き感染症対策を優先しながらも保護者様にお子さんの活動を見ていただけるよう工夫いたします。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	8	1	・1対1対応が出来ていて、細かい所まで目が行き届くと思う。 ・子どもの特性に応じて、職員配置も考えております。子どもに対して人数の多い時には減らしながら様子を見ています。3密を考えると、適当なのか考える時もあります。 ・グループのお子さんの状態によって職員の人数を減らしながら行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	4	0	広い訓練室だと情報が多くなり、集中が途切れてしまうこともありますが、訓練を行うにあたりみんなで情報を共有しながら、お子さんに合った訓練の提供ができるように心がけています。	肢体不自由児が訓練室の移動の際に怪我をしないように梱包材を使用していました。マットなどがあると良いかと思えます。 →今年度はプレイルームにセラピーマットを敷く予定です。一人一人のお子さんが安心安全に活動できるよう配慮いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	2	0	訓練後に消毒をきちんとしており、清潔に保たれている。	定期的な清掃及び定時の消毒を継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	7	0	・振り返りでしっかり意見交換できている ・まだ時間がかかり過ぎてしまうことがあるので、簡潔に振り返りができるように考えていきたいです。 ・グループのお子さんの抱えている課題を共有するように心がけています。	・必要に応じて職員が情報を共有し、より良い支援につながるよう努めています。 ・個別支援計画等の様式について変更を含め検討しています。
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	4	0	保護者にアンケートを取っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	1	0	ぐるんぱだよりで知らせている。	ぐるんぱだより、ホームページ、掲示で公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	7	7	5		
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	2	0	・年に1回、技術講習会を内部研修として行っている。 ・コロナ禍のため、ズームやWebによる研修が担当により充実されていると思っています。 ・外部の先生に依頼し講習している。	専門研修の受講やセンター内でのOJT研修を継続していきます。

区分	NO.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	16	3	0	・保護者にアンケートを記入していただいている。 ・前任者から情報を聞き相談しながら作成している。	施設内での共有を考えると書式の変更も検討してもよいのかもしれない。
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	9	0	職種によっては、必要に応じて使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	6	0		
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	17	2	0	目標に基づき訓練をしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	4	0	グループで事前に活動に使用するものを準備している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	3	0	1か月を目安に活動を変えている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	14	5	0		
	17	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18	1	0	グループで話し合いをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	1	0	グループメンバーの情報の共有をしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	1	0	担当以外でも、記録の入力をしている。	
20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	1	0			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	3	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	3	0	連携を取りたくてもスムーズに行かないときもある。	連携がスムーズに行かない状況を分析しセンターとして必要な改善について検討します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療福祉障害、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11	6	2		

区分	NO.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
(続き) 関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	8	2		
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	5	0	・園訪問で、情報交換をしている。 ・入園後に園訪問は適宜行っているが、入園時には十分な移行支援ができていないかもしれない。	ぐるんぱ利用開始時には幼稚園等に入園しているお子様も多いですが、移行支援が必要なお子さんについては保護者様のご意向を確認しながら対応を検討します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	6	9	4	・他の事業所との連携は、ケースを通して必要に応じて行っている。今年度は各事業所の意見・要望をもとにセンターとしてどのような取り組みができるか検討している。 ・なかなか機会がとれない。	検討結果をもとにセンターとしての役割について検討いたします。引き続き、発達障害者支援センター等が実施する専門研修の受講をすすめていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	9	8		
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	4	4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	1	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	10	6	・更に地域やもっと幅広い分野にアプローチできるとよい。 ・グループの中で上手くいった方法を伝えています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	1	0	でもそれに近いものを提供している。	契約時に必ず説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	2	0		
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	19	0	0	通所日以外にも保護者からの相談が増えている。	個人への支援と併せて保護者同士の交流の機会を増やしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	9	4		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3	0		

区分	NO.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
(続)保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	19	0	0	他の分野も巻き込みたいがなかなか難しい・・・	ぐるんぱだよりの発行を継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19	0	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	2	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	9	3	でも新型コロナでほとんど中止や延期になった。	今後も検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を行っているか	17	2	0	防犯の訓練は、行っていない。防犯マニュアルはまだ作成できていない。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	19	0	0	月毎に避難訓練を行っている。	年間計画に基づき実施しているが保護者様への周知方法について検討いたします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	16	3	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	9	0	保護者には確認しているが、医師の指示書まではもらっていない。	給食の提供がないため医師の指示書はいただいているが行事のおやつ等の提供時には保護者様に確認をお願いしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	0	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	3	0	さらに組織的な対応ができるよう、来年度の虐待防止委員会設置に向けて取り組んでる。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	15	3	1		